

事業者名	岐阜県								
機器名	三次元造形機								
写真									
特徴・用途	三次元データを水平面で輪切りにした断面データを自動作成し、断面データに合わせて熱溶解した樹脂を積層して立体物を作製する装置(3Dプリンター)。手間をかけずに試作、見本製作が可能である。								
設置場所	岐阜県情報技術研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	H 26年1月	19	0	14	5	127	0	4	23
	H 26年2月	8	0	10	3	38	0	1	14
	H 26年3月	8	0	8	5	16	0	1	14
	H 26年4月	15	0	20	7	77	0	2	29
	H 26年5月	16	0	22	7	127	0	3	32
	H 26年6月	17	0	20	11	138	0	3	34
	H 26年7月	9	0	2	4	44	0	2	8
	H 26年8月	10	0	9	2	39	0	6	17
	H 26年9月	21	0	8	10	196	0	7	25
	H 26年10月	15	0	7	7	107	0	6	20
	H 26年11月	17	0	5	7	100	0	3	15
H 26年12月	6	0	3	3	13	0	4	10	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・造形品の強度が高いので、機能検証にも使用できてよい。 ・切削加工機(削り出し)に比べて取り扱いが簡単で、安く加工ができる。 ・金型の修正回数を減らせるので、時間とコストが削減できてよい。 ・ナイロン、セラミックスなど他の材料にも対応してほしい。 								
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h25/pdf/25-027koho.pdf								